

< 受賞者 >

**松野 啓太**

北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 准教授

< 功績名 >

# 北海道における新興ウイルス感染症の研究

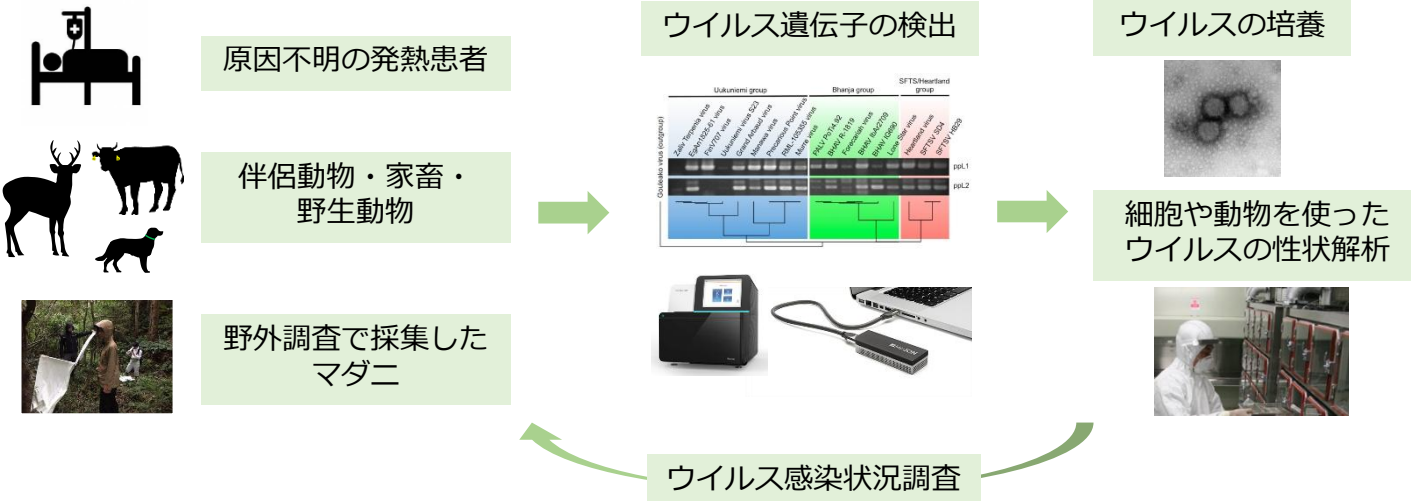
エゾウイルス感染症や新型コロナウイルス感染症など、新たに出現した感染症を研究しています。

## 背景

- 地球上には未発見のウイルスが多数存在しており、その一部は人や動物に病気を引き起こすものだと考えられています。新型コロナウイルスのように、新たに出現した病原ウイルスによって引き起こされる感染症を新興ウイルス感染症と言います。
- マダニはさまざまなウイルスを保有し、吸血によって人や動物がそれらのウイルスに感染します。そのため、マダニが保有するウイルスは新興ウイルス感染症の原因となることがあります。
- 新興ウイルス感染症は新たに出現したものであるため、知見の蓄積がほとんどありません。そのため、多角的な研究を実施する必要があります。

## 研究内容

### 研究の流れ

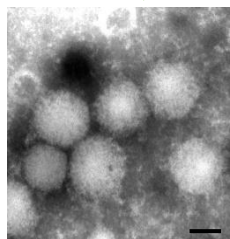


## エゾウイルス感染症の発見と動物モデル樹立



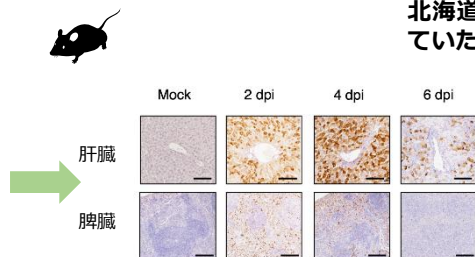
## マダニからBeijiナイロウイルス (BJNV) を検出

中国で熱性疾患の病原ウイルスとして報告されているBeijiナイロウイルスが、北海道のマダニにも分布していた。



bar = 100 nm

発熱患者の血液から培養されたウイルス



実験的にウイルスを接種した遺伝子組換えマウスでは肝臓や脾臓でさかんにウイルスが増殖した。

